



沖縄県医師会組織力強化委員会若手医師の会 「Team F-Vision (Future Vision) supported by OMA」発足

理事 玉城 研太郎



全国的にも沖縄県医師会でも医師会の組織率の低下（入会者の減少）は喫緊に解決しないといけない課題であり、わたくしども沖縄県医師会も含めて、また日本医師会でも様々な策を講じてこの課題を乗り越えるべく画策をしているところである。日本医師会では研修医の会費を5年間無料とし、また沖縄県医師会でも毎年4月に行われる研修医歓迎レセプションや琉球大学医学部の授業の中で医師会活動や医師会入会の意義をお伝えしている。少しずつ入会率が上昇し、これらの活動の一定の効果が得られてはいるが、若い世代の先生方にもっともって医師会活動の内容をお伝えし、加えて若い世代の先生方にもっともって医師会活動に参加していただきたく、この度沖縄県医師会では若手医師の会「Team F-Vision supported by OMA」を設立した（F-VisionのFはFutureの略で、OMAはOkinawa Medical Associationつまり沖縄県医師会の略である）。

Team F-Visionの活動目標を「誰もが取り残されない魅力ある医療を、若い世代から先輩医師まで切れ目のない世代で考え創る」とし、若い世代にも積極的に沖縄県の医療創り、医療施策の構築に参加して頂きたいと考えている。Team F-Visionのメンバーは、安里眼科の安里良先生に委員長を、嘉数胃腸科内科の嘉数昇達先生に副委員長をお願いし、沖縄第一病院の宮城剛志先生、琉球大学の宮城朋先生、中頭病院の幸喜絢子先生と同じく中頭病院の仲村尚司先生、そして海邦病院の富名腰亮先生にご参加頂き、琉球大学の銘苅桂子教授と宜野湾記念病院

の末永正機先生、そして小生がお姉さんお兄さんアドバイザーとして参加させて頂いている。若手の先生方でTeam F-Visionに参加したいという先生方がいらっしゃいましたら、沖縄県医師会まで是非ともご連絡を頂けますと幸いです。また先輩方でもTeam F-Visionの皆様との意見交換や交流のご希望がございましたら遠慮なくご連絡を頂けますと幸いです。

若い先生方の意見が県医師会、各郡市医師会や市町村行政・県行政との会議の中で反映されたら良いなあ、とTeam F-Visionの先生方に様々な会議に参加頂くことを企画している。まず第一弾として2024年3月22日に那覇市医師会理事会にTeam F-Visionの先生方にオブザーバーとして参加いただき、那覇市医師会の理事の先生方と特に那覇市の医療について意見交換を行った。またその後懇親の場では食事をしながら医療のこと、時には医療を超えた人生訓も含めて楽しい時間を過ごさせて頂いた。今後は宮古・八重山を含めた各郡市医師会や沖縄県医師会理事会、様々な委員会にも参加を頂き、若い世代の意見をお話して頂きたいと考えている。

また現在Team F-Vision主催の沖縄県の医療の未来を考えるシンポジウムと大懇親会を企画している。本シンポジウムでは研修医や若手の先生方のみならず、医学部の学生やもちろん先輩医師の皆様にもご参加頂き、会場を巻き込んだ大討論会を考えている。具体的なコンテンツはこれから詰めるところだが、特に沖縄県の医療界が抱える喫緊の課題の抽出や解決策の討議、そして10年後20年後の医療界の中核を担う世

